

こまぎわ経済通信

発行/駒澤大学経済学部同窓会

総会 盛大に開催される

新生経済学部同窓会が十一月二十日、駒澤大学記念講堂で開催された。

当日は小雨の中、六〇〇人の同窓生が出席。総会は午後一時十分開催され、小林準備委員の開会宣言の後、議長、書記の選出が行われ、石川英義準備委員長からこれまでの経過報告があった。

経過報告の中では「平成五年二月十七日第一回の準備会を開催、そこでは同窓会活動の活性化をはかり、多くの同窓生の交流の場をつくる目的で四万人の同窓生のうち住所の判明している三万人に総会の案内をした」などこれまでの経緯が報告された。

議長団と会長などの役員が選出された後、会則、活動計画、予算案等が承認され、総会は終わった。なお会長には大下剛史氏が選出された。

総会の後、来賓が出席された。松井秀雄同窓会長、総長、阿部肇一学長、吉野紀経済学部長、関延郎同窓会事務長からあいさつがあった。

来賓あいさつの後、「今後の世界情勢と日本経済」というタイトルで、記念講演が行われた。講師はテレビ等で大活躍している三万人に総会の案内をした。

ト裏信彦氏を招いて「現在の政治情勢、国際情勢」について熱のこもった講演があった。出席者の多くは一時間以上におよんだ講演に大きな感動を味わったようであった。続いて会場を体育館に移し、懇親会がもたれた。

懇親会は落語で活躍している経済学部OBの三遊亭貴楽氏と桂竹丸氏の息のあった二人が総会司会をつとめ、鏡割りにはジャイアンツコーチの中畑清氏も加わるなど、なかなか雰囲気の中、列席した同窓生は先生や旧友との間で楽しい語らいをした。

懇親会には落語で活躍している経済学部OBの三遊亭貴楽氏と桂竹丸氏の息のあった二人が総会司会をつとめ、鏡割りにはジャイアンツコーチの中畑清氏も加わるなど、なかなか雰囲気の中、列席した同窓生は先生や旧友との間で楽しい語らいをした。

懇親会には落語で活躍している経済学部OBの三遊亭貴楽氏と桂竹丸氏の息のあった二人が総会司会をつとめ、鏡割りにはジャイアンツコーチの中畑清氏も加わるなど、なかなか雰囲気の中、列席した同窓生は先生や旧友との間で楽しい語らいをした。

懇親会には落語で活躍している経済学部OBの三遊亭貴楽氏と桂竹丸氏の息のあった二人が総会司会をつとめ、鏡割りにはジャイアンツコーチの中畑清氏も加わるなど、なかなか雰囲気の中、列席した同窓生は先生や旧友との間で楽しい語らいをした。

会長に大下剛史氏選出

新生経済学部同窓会の役員には野球評論家として活躍している大下剛史氏等が選出された。

平成五年度から平成八年度までの役員は次の通りです。

会長 大下剛史
副会長 勝場政範
二宮 至
谷敷政光

この他の役員は、代表幹事は総務担当、清水左京・藤井道廣、催事担当、斎藤但・大内勝蔵、広報担当、佐藤均・柘植忠章、財務担当、川崎論・河野哲也、組織担当、松下誠之・吉沢道雄、監査、鈴木聖蔵・鳥居博の各氏、幹事橋本貞和氏他八十二名。

このたび、同窓会会長を務めさせていただくことになりました大下剛史でございます。同窓生数四万余、現在の心境は、超満員の広島球場でチャンスに打席へ向かう時のようです。

さて、課題となる「活動の活性化・継続的、有効な活動」の達成は、一朝一夕で実現することは非常に困難で、膨大なエネルギーが必要となります。幸い皆様から賛否両論様々なメツ

セージが寄せられており、これを原動力として精一杯務める所存でありますので、ご協力とご理解をたまりますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

○日時 平成五年十一月二十日(土)
○総会第一部午後一時十分
○二時十分
○場所 駒澤大学記念講堂
○出席同窓生 六百八
○議長 石川英義氏(昭和三十三年三月)
○副議長 荒井幸雄氏(昭和三十一年)
○書記 土屋 道氏(昭和四十八年) 川合竜一氏(昭和六十一年)

○開会宣言
総会開会にあたり、これまで準備委員会推進役を担ってきた小林清次郎氏(昭和四十五年)より以下の宣言が威風堂々と読み上げられた。

「開会宣言 大学はいま、厳しい冬の時代に突入し、日本の教育制度全体が、それぞれの分野で大きな転換を迫られている。熱い血の通った組織と

この状況を鑑みるならば、われわれ同窓生はこれを看過することなく、いまや全員が連帯して大きな力を結集すべきときであると考えます。

駒澤大学、われわれに大きな夢と希望を与え、感動を与えてくれた。この青春の地、われわれの心に大きな光を与えてくれた母校が、さらに発展し、百余年の伝統を継承しながら、未来への確固たる基礎を築いてくれることを願ってやまない。

そして、われわれの心のよりどころとなる同窓会が、単なる親睦会に留まらず縦横の連係を確立した、真に活力のある、熱い血の通った組織と

母校の発展のための活動的組織となることを念願している。

本日ここに多数の同窓生が結果し、新たな発想と新たな機構を確立し、その第一歩を踏み出さんとしている。この第一歩が、母校駒澤大学の同窓会組織の、またこの学舎を築き上げた、多くの同窓生の前途に、新たな光を見出すことが出来るよう、その活動の充実と、限らない発展を期待するものである。ここに新生経済学部同窓会の第一回総会の開会を宣言する。」

石川英義議長
議事に先立ち、議長団として準備委員会の役員が議事進行することの了承が求められ、併せて各人の紹介がなされた。

本日配布総会資料「準備委員会発足から総会までの経過」に基づき経過報告がなされ、特に「昭和二十七年の商経学部同窓会発足以来、約四万人余りの卒業生に対して特段の活動や組織的連係がなく、コミュニケーションが不足していた。また、大学の将来に目を向ける学生数激減といふ厳しい時代にさしかかり、従来の同窓会活動を再構築する必要が生じ、本学部卒業生の谷敷正光先生らの尽力により、平成四年四月に本日の総会の開催につながる第一回の話し合いが行われた。また、総会開催にあたり大学当局からは同窓会事務局として経済学部同窓生三万人分の宛名ラベル及び名簿、教員からはゼ

ミの卒業生の幹事の推薦、学内同窓生からは具体的な準備など、各方面からの多大な支援を頂いて総会を開催することとなったので、関係各位に感謝の意を表したい。今後は各地の同窓会や他学部の同窓会などと相互に協力の体制を固め、より一層の活動と活性化を図って行きたい」旨の報告と、同窓生各位に一層の協力をお願いしたいとの要請がなされた。

引き続き、議長より本日の議案について説明がなされた。なお、会則制定、役員選出、活動計画、予算案等については各部会の代表幹事から具体的な説明がなされた。

吉沢道雄準備委員会組織担当(昭和三十一年)
以上、議案の承認
以上の経済学部第一回総会に関する議題に対し、議長より一括承認の要請がなされ、

全会一致をもって異議なく承認された。
九、新役員略歴紹介及び代表幹事紹介
石川英義議長
《会長》
大下剛史(昭和四十二年、元広島カープ、現テレビ朝日野球解説者)
《副会長》
勝場政範(昭和三十一年、現優勝和社長)
谷敷正光(昭和四十三年、本学部卒業、経済学部助教)
二宮 至(昭和五十一年、元読売巨人軍、現「サテイク」代表)
以上の新役員の紹介が議長よりなされ、「大下会長は、本日プロ野球ドラフト会議のため、座をはずせず、それが終了してから来校すること」と、「会長就任の挨拶は、総会第三部の懇談会場で頂くことにしたい」との紹介がなされた。
十、第一部閉会の辞
谷敷正光副会長
経済学部同窓会第一回総会第一部の閉会にあたり谷敷副会長より、「経済学部同窓会第一回総会がここに開催されたことは、本日議長を努められた石川英義氏の活動と功績が大である」旨の披露と、「ここに至る関係各位の協力を謝意が表された。」
十一、その他
議事進行上、議案に関する質疑については割愛され、懇親会の席上で新役員に直接質疑のうえ、すべての案件を了承して頂く。また、「建設的な意見を持つ方は、積極的に幹事として名乗り出て、この活動に参加して頂きたい」との要請がなされた。



経済学部の先生



中畑 清友会会長 吉野 紀経済学部長 大下剛史会長

第一回総会議事録

の起案骨子と今後の課題の補足説明として「(一)本部同窓会事務局との連係を密にする。(二)連絡の途絶えた同窓生のパイプ役として連絡先の確認等に取り組む。(三)今後の連絡を継続するため、同窓会員への広報・連絡・資料整理に努力する。(四)身近な支部(地域体制)の拡充。(五)実務組織を活性化させ、事業の充実を目指す。詳細については、次回の総会までに、これまでの準備委員会が主体的に活動し、その中で多くの同窓生の意見を吸収しながら組織体制を構築して行く。その過程で修正すべきは修正するという前提でこの議案の承認をお願いしたい。」旨の提案がなされた。
五、役員選出
吉沢道雄準備委員会組織担当
別紙のとおり、準備委員を中心とした役員候補の紹介がなされた。
六、活動計画
二宮 至副議長
別紙の活動計画の補正として「具体的内容は、新役員会で検討し、具体的活動に取り組んで、次回の総会において結果として報告することとしたい」旨の提案がなされた。
七、予算案
河野哲也準備委員会財務担当(昭和四十年)
別紙の子算に対しての算出根拠として「具体的な活動が未定なので今回の総会に至る経費を参考に作成した」旨の作成子算案の骨子について説明がなされた。
八、議案の承認
以上の経済学部第一回総会に関する議題に対し、議長より一括承認の要請がなされ、

同窓会発足までの足跡

平成五年二月十七日 駒澤大学学生会館 18:30、21:00
石川京同窓会会長をはじめ同窓会役員・学内同窓生・学内同窓生が集会。これまでの同窓会を基盤として「同窓会活動を活性化させ、継続的・有効的な活動ができるよう新生同窓会構築のために四万人の同窓生のうち住所の判明している約三万人に呼びかけ総会を開催する。そのための準備委員会を発足させる。」ことを全会一致で決定。

三月九日
学内同窓生に対して準備委員会への参加と総会に向けての協力を依頼。

三月十五日
学外同窓生(ゼミの幹事・学生団体の幹事・経済学部の先生から推薦頂いた同窓生等の方)に準備委員会設立の協力依頼文を送付。

三月二十日 駒澤大学学生会館 18:30、21:30
十五日に依頼のメンバーが準備委員会設立のための集会。

四月二十日 駒澤大学学生会館 18:30、21:30
準備委員会の中に専門部会を設けるための業務分担作業成、検討のための集会。

五月十日
学内同窓生全体集会。五月二十九日の準備委員会決起集会への参加と協力要請。

五月十七日
準備委員会決起集会開催通知一六〇通を発送。

五月二十九日 駒澤大学学生会館(二)教場 14:00、17:00
準備委員会決起集会開催(学内外同窓生六十名参加)。(1)準備委員会発足宣言。(2)吉野紀経済学部長、関延郎同窓会事務局事務局長、大田誠同窓会相談役等挨拶の後、協力を得る。(3)第一回の会合から当日までの経過説明。(4)企画案提示。(5)当日参加者の役割分担(総務・催事・財務・広報・組織担当)決定。(6)それぞれの担当(責任者)を選出および以降の会合のスケジュールを討議。

五月二十九日
準備委員会の運営にかかわる費用について、当日の参加者および学内同窓生が総会参加費を前払いするということと一口五千円の納入を決定。

五月二十九日
準備委員会欠席者の中で、協力の申し出のあった方に経過報告と今後の委員会への出席を依頼。

六月二十日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
この間各担当部会は会合を開催し業務分担、進行等について検討。

六月二十八日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
同窓会事務局に会員データの提供と郵送費の援助等を依頼。

七月五日
同窓会事務局が各種データの提供を承認。会員台帳等の提供を受ける。

七月十四日 経済学部長 吉野学部長、準備委員の谷敷先生より、先生方に準備委員会の活動状況を説明。準備委員会への協力と総会当日の出席を要請。

七月十九日 学内同窓生全体集会
学内同窓生に対する中間報告と一層の協力を依頼。規約

七月二十日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
原案を提示。

七月二十日 学内同窓生集会
準備委員会の中に実務を担当し、迅速・円滑な業務遂行が出来るよう推進部(実務担当者)の設置を決定。担当者を選出。夏期休暇中の作業日程を協議。九月十一日(土)に学内外の準備委員の協力のもと総会開催通知の発送作業に取り掛かることを確認。

七月二十一日
郵便受け取り人払いについて世田谷郵便局へ、会費受け入れ口座開設について東京貯金事務センターへ、郵便物の発送割引について玉川郵便局へそれぞれ照会し申請。

八月二日
すべての準備委員にたいして郵便作業の協力依頼文を発送。

八月六日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
準備委員会正副議長、担当長等が総会関係印刷物の最終確認。当日発注。八月末日までに納入を確認。

八月十一日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
駒澤大学教務部講師控室 9:00、17:00
学内外準備委員のべ百名が参加して、郵便発送作業を行う。住所判明者一九、六三四通の発送作業完了。

八月十三日
玉川郵便局より発送。

八月十六日 授業再開
経済学教授会に「総会開催の案内」と出席のお願いを配布。

八月二十日
開催通知発送一週間後「転居先不明」「あて名不在」「宛名不完全」等で約二、五〇〇通の返送。

八月三十日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
出欠回答二、五四八通が世田谷局に到着。うち出席二百名。出席状況不振のため、準備委員各人が、一人について十名の出席を勧誘することを確認。各自が電話作戦を展開。出席者の拡大に努力する。併行して開催されていた経済学部長会、この状況が報告され、先生方も積極的な取り組みを協議。総会当日総会終了後、夜にゼミの同窓会を開催する等、出席の呼びかけに協力。多数の先生が多くなる努力と経費負担で同窓生に再度の連絡を開始。

八月三十日
電話・FAX等による出席回答、約百名。

八月三十一日
世田谷郵便局に五八八通の出欠回答到着。うち出席百名。

九月十日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
総会当日の具体的な課題(プログラム作成・役員選出方法・議事の進行方法・会場設置・懇親会の進行等)について検討。

九月十一日 駒澤大学学生会館 18:30、22:00
学内同窓生の全体集会。総会当日の協力体制を協議(本日までの年会費納入。出席者・欠席者を含めて、一三六名、六、七九七、八四〇円)。

九月十五日 駒澤大学本部棟五階会議室 14:00、17:00
準備委員会役員、担当長等により最終全体準備委員会について協議。

九月二十日 駒澤大学学生会館(四)五教場 18:30、22:00
総会開催にかかわる具体的な課題について、最終協議。



事業計画・予算案・総会運営上の問題、懇親会の進行、その他今後の課題となるべき事項を検討。
十一月二十日 駒澤大学記念講堂 13:00、駒澤大学経済学部新生同窓会総会開催。以上

経済学部在校生のみならず

平成五年十一月に経済学部同窓会が再スタートしました。今後は会報「こまぎわ経済通信」やさまざまなイベントを通して、在校生との連絡をはかり、充実した同窓会活動を展開して行きたいと思っております。発足したばかりの組織ですので活動が軌道に乗るまでには時間がかかるかと思っておりますが、同窓会活動の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

なお、現在在学中の皆さんにも卒業後には経済学部同窓会の会員として同窓会費(二年分二千円、三年毎六千円一括納入)を払込んで頂きたい。今年度の卒業生には、後日お願いと振込用紙を送付いたします。また卒業後、住所、氏名等が変わったときは、必ず事務局までハガキで連絡して下さい。

中畑 清 営友会 会長も参加

総会当日は、営友会(経営学部同窓会)の中畑清会長も出席され、懇親会では大田剛史会長との懇談の後、同窓会発展のために営友会とともに協力しながらがんばっていくという励ましのメッセージがあり、出席した多くの会員から盛大な拍手を浴びました。

経済学部事務局からのお知らせ

この「こまぎわ経済通信」創刊号は第一回同窓会参加者および年会費納入者を対象に発送しました。なお、会費振込から事務局に到着するまでに時間を要する場合がありますので、会費納入者一覽に掲載が間に合わなかった方は「容赦下さい」。

◆次回総会は平成八年度の秋を予定しています。一人で多くの同窓生が参加することができるよう友人同士の連絡をお願いいたします。

◆経済学部同窓会費の納入方法
同窓会費は年会費二千円(同窓会会則第十四条)を三年間分(六千円)一括納入でお願いします。

◆振込先は
全国郵便局
東京四一六六五四〇四
駒澤大学経済学部
同窓会事務局宛

◆住所や氏名等に異動があった場合は事務局まで官製ハガキ(卒業年度、氏名、住所、電話番号、会員番号を記入)でご連絡下さいませ。ようお願いいたします。

◆経済学部同窓会に対するご意見、ご希望があればお寄せ下さい。

◆経済学部同窓会、同窓会事務局の連絡は
〒154 世田谷区駒沢 一三三二一
駒澤大学同窓会事務局
TEL 〇三三四一八一
FAX 〇三三四一八一
九一九〇

役員一覧

会長	大下 剛史	副会長	谷敷 正光	代表幹事	総務担当 清水 左京 催事担当 斎藤 但 広報担当 佐藤 均 財務担当 川崎 諭 組織担当 松下 誠之	二宮 至 道廣 勝蔵 忠章 哲也 道雄	藤井 大内 内田 柘植 河野 哲也 吉沢 道雄	勝場 政範 左京 藤井 但 大内 均 柘植 諭 河野 誠之 吉沢	文彦 昭二 昭二 則博 松村 忠 小林清次郎	水間 古屋 古屋 張替 張替 沢口 沢口 大湖	仲三 孝仁 孝仁 洋一 洋一 勝博	萩野 吉村 吉村 清水 清水 川合 川合 荒井	晴弘 昭道 昭道 竜一 竜一 幸雄	安藤 矢尻 矢尻 柿沼 柿沼 土井 土井 竹内	博範 富雄 富雄 正允	宣秀 睦之 睦之 久子 久子 礼子	山下 三谷 三谷 室田	秀之 久子 久子 礼子	賢一 聖雄	山崎 亘 亘 佐志 佐志 正一 正一 哲男	川名 正一 正一 哲男	山崎 亘 亘 佐志 佐志 正一 正一 哲男	柴田 正雄 正雄 英策	加藤 慎一 慎一 敏彦 敏彦 靖枝 靖枝 誠	内野 高橋 高橋 宮下	石塚 武 武 山田 山田 惠彦 惠彦 新山 新山 文明	田坂 勝広 勝広 英典	川辺 貞士 貞士 仁彦 仁彦 博則 博則 晃一 晃一 博	塩田 加藤 加藤 阿部 阿部 二瓶 二瓶 鳥居	松村 嘉耕 嘉耕 勝山 勝山 伊藤 伊藤 中山 中山 高橋 高橋 鈴木 鈴木 石川	監査 相談 役	石川 京英
----	-------	-----	-------	------	---	------------------------------	----------------------------------	---	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------	----------------------------------	-------------------------	----------------------------------	----------------	-------------------------	----------------	----------------	-------	--------------------------------	----------------	--------------------------------	----------------	---------------------------------	----------------	---	----------------	--	----------------------------------	---	---------	-------



経済学部同窓会費納入者一覽 (平成6年1月16日現在)

Table listing members of the Economics Department Alumni Association, organized by prefecture: 北海道 (Hokkaido), 宮城県 (Miyagi), 秋田県 (Akita), 山形県 (Yamagata), 福島県 (Fukushima), 茨城県 (Ibaraki), 岩手県 (Iwate), 栃木県 (Tochigi), 群馬県 (Gunma), 埼玉県 (Saitama), 千葉県 (Chiba), 東京都 (Tokyo).

経済学部同窓会費納入者一覧 (平成6年1月16日現在)

東京都		
多田雄一	伊藤一	尾下洋一
森守森	森守森	森守森
...		
神奈川県		
愛甲道雄	相沢一	野川俊
...		
千葉県		
柏野加	木谷加	岩本加
...		
山梨県		
武原俊	山原俊	川原俊
...		
静岡県		
赤地誠	伊藤誠	河村誠
...		
三重県		
倉本真	林真	小坂真
...		
滋賀県		
林宮本	荒川西	大坪西
...		
京都府		
新井宏	池田宏	久野宏
...		
大阪府		
井尻浩	大野浩	小野浩
...		
徳島県		
笠井利	小笠利	田中利
...		
香川県		
黒川佳	後藤佳	柴田佳
...		
愛媛県		
赤生紀	神池紀	野中紀
...		
高知県		
安岡勇	岡野勇	山崎勇
...		
福岡県		
相田光	浅田光	片田光
...		
佐賀県		
梅田山	桶谷山	谷山山
...		
長崎県		
川部正	岡部正	柿野正
...		
広島県		
石田吉	出原吉	大岡吉
...		
山梨県		
武原俊	山原俊	川原俊
...		
静岡県		
赤地誠	伊藤誠	河村誠
...		
三重県		
倉本真	林真	小坂真
...		
滋賀県		
林宮本	荒川西	大坪西
...		
京都府		
新井宏	池田宏	久野宏
...		
大阪府		
井尻浩	大野浩	小野浩
...		
徳島県		
笠井利	小笠利	田中利
...		
香川県		
黒川佳	後藤佳	柴田佳
...		
愛媛県		
赤生紀	神池紀	野中紀
...		
高知県		
安岡勇	岡野勇	山崎勇
...		
福岡県		
相田光	浅田光	片田光
...		
佐賀県		
梅田山	桶谷山	谷山山
...		
長崎県		
川部正	岡部正	柿野正
...		
広島県		
石田吉	出原吉	大岡吉
...		

本紙印刷直前
の振込到着分

秋田敏行、秋元達夫、足立貞治、新井井晴人、池田久賢、岩田邦久、岩植松崎、大内昭彦、大江義昭、大茂啓男、大野益健、小田信一、木村久樹、久門公一、河野玉川、小采宣昭、澤野一成、菅橋倫治、高橋武田、高田宗久、中村昌隆、野花吉明、日吉森和、藤堀山久、丸峰三郎、武藏山城、山本嘉裕、吉川敏文、若松政夫、松島哲也、和野田積